



平成6年、徐福の墓を中心として整備され「徐福公園」としてオープンしました。（和歌山県新宮市）



蓬莱山と熊野川

不老不死の薬を求めて蓬莱山をめざした徐福は、熊野川河口にまるで椀をふせたような形の山を見つけました。これこそ神々が降臨するとされる蓬莱山だと思ったのです。

この小山は徐福の伝承が元になって蓬莱山（標高約50m）と名付けられ、現在もそう呼ばれています。



蓬莱山南面（阿須賀神社）

蓬莱山の南側からは竪穴式住居跡や弥生式土器などが出土することから、この地一帯には弥生時代より集落があったことがわかります。

また、遺跡が発見された場所と隣接して阿須賀（あすか）神社が鎮座しています。



徐福上陸記念碑（阿須賀神社南）

熊野川河口近くを航行していた徐福たちは蓬莱山を見つけてこの地上陸することを決めました。

平成9年、徐福が上陸したとされる場所に記念碑が建てられました。

賀神社南)